

9月 ミーティング記録

日時：2023年9月28日（木） イオンモール京都4F フードコートにて

出席：TN、TT、(ST)、(NH)、(YY)、YH、(MY)、(RY)、(AY) *はネット参加、()は欠席

山行報告（8/23～9/28）

CSS：クライミング研究会 SKN：スキーネット

No.	日程	山名	形態	参加者
1	8/25-26	剣岳	PH	NH 他1
	今回個人的には100名山の100座目剣岳のピークハントを目的とした。足に障害を持つ同行者をも登頂させたく、距離は長く修行ルートではあるが、危険度の低い早月尾根ルートでの登頂を目指した。本田が水8Lを引き受け荷揚げし負担を減らしながら、早月小屋1泊の行程で、無事目的を達成する事ができた。今回平日を含めた行程を選んだため、入山者も少なく、前後を気にする事もなく、補助的に安全確保しながら、難所を乗り切り、無事山行を終える事ができた。同行者も99座目を達成し、印象に強く残る山行となった。			
2	8/26-27	沢上谷（初級登山教室）	沢	TT TN 他4
	入渓点と終了点に車をデポ。前日・当日とも午後は天気が崩れる予報だったが、遡行時は晴れ間ものぞき、あまり緊張する場面も無く延々と続くナメの沢歩きを楽しめた。3つの个性的な大滝があり、シアターのカーテンのような岩洞（がんど）の滝と1枚岩をスローモーションのように波状落下する箕谷大滝は特に印象に残った。箕谷大滝の後の長いスロープはネットでは頼りない木にロープが括り付けてある写真を目にしたが、ペツルボルト2本に取り替えられていた。			
3	9/2	比良サカサマ谷（CSS）	沢	TN 他1
	平バス停そばの駐車場が（何と）満車だったので、沢入口の林道に駐車して入渓。ほとんどが直登できる小滝多数で初心者トレーニングによさそう。権現山方面の沢との分岐がわかりにくく、頭にはあったのにルートミス。その直後に岩に顎をぶつけて口の中を切った。小女郎ヶ池でゆっくり休憩してアゼチ谷南尾根で下山。			
4	9/9	懸垂登り返し	RCトレ	TN RY AY
	皇子が丘公園の東屋で登り返しシステムの原理とセッティングを試した。事実上空懸垂に近い形になったので、ブレイデバイス回りが1箇所集中して混み合ってしまった、整理して操作性を上げる工夫が必要であることを実感した。ガイドモードのロープ反転による片流れは要注意。			
5	9/10	金毘羅（初級登山教室）	RC	TT TN 他5
	金毘羅・北尾根でシングルロープ・マルチピッチシステムの練習。スタッフ4、受講生3となったため、ラストは1:2の編成になり、シングル2本の引き上げは大変だった。午後から雨予報で雲が出てきたため、13時過ぎに切り上げて下山。			
6	9/16-17	硫黄岳	PH	RY AY
	2日間とも晴天で気持ちの良い登山だった。山の日6時の時点で本沢温泉登山口の駐車場は満車だったが今回は70%の埋まり具合。初日は15時頃、二日目は7時頃に登山後に本沢温泉に浸かる。硫黄岳を眺めながら、約41度の濁り湯と涼しい風を交互に味わい心身ともに整った。本沢温泉テニ場に女性専用サイトがあり、ソロでも安心。道は整備されていて歩きやすく人も少ないのでのんびり歩くにはちょうどいい山だった。			
7	9/16-17	奥穂高・潤沢岳	PH	NH YY 他1

	8/16から涸沢2泊予定で、会員外の友人の日本100名山完登の見届けにYさんをお誘いし3人で奥穂にむかうも、Hは膝の調子が悪く、後々の事を考え、奥穂登頂を断念し涸沢で2人を見送る事になったが、2人は無事涸沢岳も含め登頂を果たした。Yさんにはサプライズで用意した100名山達成のタスキを託し、3190Mのケルンで手渡してもらった。写真撮影待ちの方々からお祝いの拍手と偶然居合わせたホルンを持った登山者に即興で演奏して頂いたとの事で、私も一安心し肩の荷が少しおりました。友人は4年前の滑落で、首骨折・膝蓋腱:膝蓋腱断裂による再再腱・片肺破損・全肋骨骨折でのずれた状態で固定、またその後的大腿骨骨折による金属製人工股関節置換・など障害を持ちながらのケガ後約4年で100m名山30座近くを登る精神力での達成に、私自身感無量の思いで、生涯忘れることができない山行となった。			
	9/16-18	安倍奥 鹿の子池・山伏	縦走	TN
8	井川自主運行バス小河内より北に向かう尾根を辿る。一色山(1411)より小河内岳III峰までテープ無し、踏跡もあって無いようなものだが、忠実に尾根をトレースするとよさそう。水無峠山から鹿の子池まではどれが尾根かわからないような複雑な地形が出てくる。危険箇所は無いので方角を定めて下る。鹿の子池は静かな秘めやかな場所。山伏小屋もすぐ近くに沢がありよい小屋だが、奥側にスズメバチが巣を作っており要注意。同宿二人組に教えてもらった。山伏～八紘嶺は一般道。美しいダケカンバ林が現れる。梅ヶ島温泉までの下り後半は単調な植林帯のつづら折れで、歩いていても歩いていても距離が稼げずうんざりした。今回は終始高山病に苦しめられ余裕が無かったが、下山後の温泉とおでん(湯元屋)は最高だった。			
	9/17	焼岳	PH	YH
9	単独で上高地から入山。天気よく暑さも絶好調。久々の登山で汗だらけ。10分ほど歩いては小休止を繰り返し、落ちた体力と重い体重を実感する。地図のコースタイムをオーバーするペースで焼岳小屋に到着。稜線上は大変涼しく快適だが、ガスが湧き、山頂は見えなくなる。押し合っている時間、疲労具合等を考え、やむを得ず中尾峠から岐阜県側に下山することにした。足ガクガクでもなんとか中尾に下山、バスで平湯に戻り、ひらゆの森で久々に温泉に浸かり帰宅した。			

山行計画

No.	日程	山名	形態	担当
1	10/1	獅子岩(初級登山教室)	RC	TT
2	10/6-11	韓国の山	縦走	TT
3	10/7-9	笈ヶ岳	PH	TN
4	10/8-10	白山	PH	RY
5	10/14-15	イブネ・クラシ(初級登山教室)	周回	TT
6	10/22	天吉寺山(県連登山祭典)	PH	TT
7	10/28	黒部峡谷 樺平	PH	NH
8	10/28-29	御在所岳(初級登山教室)	RC	TT
9	11/3-4	若狭駒ヶ岳	周回	TN
10	11/3-5	信越トレイル	縦走	TT
11	11/12	ハイキングレスキュー(県連)	救助訓練	TN
12	11/23-26	宮古島	HK	NH

次回ミーティング 10月26日(木) 19:30～ イオンモール京都フードコート